

今月第19号はびわこ部滋賀蒲生野クラブの井上 温代ワイズにご登壇いただきます。



「ワイズメンズクラブとときめき」

びわこ部滋賀蒲生野クラブ

井之上 温代ワイズ

我が滋賀蒲生野クラブが1990年にチャーターして、次年度で30年目になります。その頃は今思えば、ワイズメンズクラブにとってバブル時代でした。一年に何度もどこかでチャーターナイトがあり出席していたように記憶しています。当時私はメネットで、メネットからメンになることが、すんなり認められなかった時代。我がクラブはメンバーの半分が女性であることも当時のワイズメンズクラブには珍しいことでした。メンバー勧誘は夫婦単位でお誘いしました。（退会のリスクも大きいのですが）この後、女性だけのクラブが誕生しています。（東京たんぽぽ2002・大阪なかのしま1996）現在、女性メンバーが増えたとはいえまだまだ少ないと思います。少なくともメンバーの3分の1ぐらいまで女性になると、ワイズメンズクラブも大きく変革を遂げるのではないかと期待しています。

今、西日本区の中で高齢化という、避けて通れない問題を抱えているクラブはどれぐらいあるのでしょうか？ 我がクラブもそれに漏れず年々弱ってきています。個人のネットワークも高齢化しているために、ワイズへのお誘いが難しくなっています。といって、愚痴を並べていても何も得るものはありませんが。

先日、中日本 YMCA の研修会があり出席する機会がありました。テーマは、「Y-USA でチャレンジしている YMCA から学ぶ」。YMCA of the Greater Twin Cities の CEO : Glen Gunderson さんのお話。2012年2つの YMCA を統合された結果、メンバー数・業績がともに大きく伸びたという内容。我々の知るところでも銀行業界をはじめ自動車業はじめあらゆるところで統合が繰り返され益々グローバルに展開していこうとしています。同じことがワイズメンズクラブでもいえるかもしれません。最近、国際憲法で「5名以上」であればクラブとして認められるという環境になりました。新しいクラブ誕生のチャンスととらえてはいかでしょうか。今、長浜クラブを中心にしてびわこ部全体で、湖西の地に新しいクラブを作ろうというムーブメントが生まれています。（びわこネックレス構想：長年のびわこ部の夢）みんなで一致団結しなければ新しいクラブは出来ないということを全員が認識してこそ実を結ぶのです。

あるメンバーの「ワイズを退会したら社会から取り残される」という言葉が忘れられません。社会に関わることの大切さ、クラブで学ぶことの多さ、そして何事も「ときめき」が大事です。「ときめき」を持って活動が出来たら「人」は必ず集まって来てくれることでしょう。

（元西日本区EMC事業主任、元ワイズリーダーシップ開発委員長）